

入学式 式辞

校庭や野山の草木にも、春の息吹が感じられる今日のおき日に、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、第69回入学式を挙行できますことに心から感謝申し上げます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ今日から猪位金中学校の生徒として第一歩を踏み出しました。皆さんがこれから過ごす中学校の三カ年は、長い人生の中で最も成長の著しい時期となります。一生を貫く優れた人格を作るためにも、皆さんに是非とも心がけてもらいたいことをお話しします。

皆さんは、『天国と地獄の長い箸』という話を知っていますか。この箸とは、ごはんを食べるお箸のことです。今から話す場面を思い浮かべて下さい。天国も地獄もきれいな花が咲き、丸くて大きなテーブルには、たくさんのご馳走が並んでいます。そして、どの料理も食べることができるように、長い箸が人数分置いてあります。周りには、ご馳走を食べようとしている人たちが座っています。

お腹の空いている地獄の人たちは、早く食べたいと、我先に料理に箸をつけるのです。しかし、腕よりも長い箸では、いくら頑張っても自分の口には運べません。そのうちイライラして喧嘩が始まります。

一方、天国の人たちは、目の前の料理を楽しそうに食べています。どうやって食べているんでしょう。天国ではその長い箸を使って、向かい合う人に料理を食べさせているのです。これによって、誰もが美味しい料理を食べることができます。みんなのお腹が満たされ、天国の人達は笑顔にあふれています。

相手を思う気持ちが有るか無いかで、天国と地獄に分かれてしまう。これは、学校生活も同じです。充実した中学校生活を送るためには、まず、目の前にいる相手の気持ちを考えることができる。これがとても大切です。

また、相手の気持ちを考える「心」は、自分を支える大きな力となります。

皆さんの先輩である二年生、三年生には、昨年度『自分自身を知り』そして『相手の心を見つめよう』と、話をしてきました。「心」の部分は見えにくいものです。しかし、先輩達の人話を聴く姿や友達を思いやる姿から、その成長は感じ取れました。これが、私にとって大きな誇りとなっています。

今日から中学生となる皆さんには、一日も早く学校に慣れ、先輩たちと一緒に素晴らしい猪位金中学校を築いてほしいと願っています。特に、来年度から小中一貫校『猪位金学園』に生まれ変わります。その小中一貫校の土台を作るのが君たちです。これから、小中で一緒に行う行事が増えてきます。その一つ一つの土台を、先輩たちと一緒に築いてほしいと思います。二学期からは、猪位金小学校での学校生活となり、学習する上で不便な面もあるかと思えます。しかし、「自分達が、小中一貫校の土台を作る」。そのことを誇りにして、ぜひ頑張してほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、改めましてお子様の入学おめでとうございます。本日ここに、かけがえのないお子様を確にお預かり致しました。私ども教職員は、一丸となってお子様への教育に専念いたします。今、本校では小中一貫校開校に向け「とにかくやってみる！」を、今年度のスローガンに取り組みを進めているところです。どうか、小中一貫校の土台づくりに保護者やご来賓の皆様方のお力添えをいただくと共に、私どもと一緒に、子どもの成長を支えて下さるようお願い申し上げます。

平成25年4月11日

田川市立猪位金中学校
校長 中山 秀樹